

2024
5/11 (土) 18時30分
開演
18時00分
開場

CROSSOVER

Shirakawa
cominess

白河バロックオー

音と時空を
文化の門を越えて



演奏者 **Sonar Cantando** ソナール・カンタンド
春日保人・丹沢広樹・島根朋史・春日万里子

演奏曲名

- ・ジャン=マリー・ルクレール
《音楽の愉しみ 第二集》Op.8より
「序曲」「シャコンヌ」
- ・アルカンジェロ・コレッリ
《ヴァイオリンと通奏低音のための
ソナタ》作品5-12 “ラ・フォリア”
- ・J.オズワルド
《スコッツ・チューンに基づくトリオ・ソナタ》
- ・マルタン・ベルトー
《チェロと通奏低音のための
ソナタへ長調》作品1-4
etc

チケット窓口・お問合せ先

Canto di Legno (カント ディ レー ニョ)
▶ kojicremona@gmail.com

さとうヴァイオリン教室
▶ satoviolin@kmd.biglobe.ne.jp

プレイガイド 白河文化交流館コミネス
〒961-0075 福島県白河市会津町1-17
9:00 ~ 22:00 (火休)

後援：白河市・白河市教育委員会 協力：NPO法人カルチャーネットワーク

チケット

一般 ¥3,000
高校生以下 ¥2,000

全席自由

会場

白河文化交流館コミネス 小ホール

BAROQUE

Vol.1

バロック音楽は広義において1600年頃から1700年頃の西洋音楽を示します。

その時代、西洋において国を跨いだ活躍をする音楽家が多くみられてきました。その新たな文化の交流から、それまでの地域的な音楽からより視野の広い発展的な音楽が生まれます。現代におけるバロック音楽は国境や人種、数百年という時代すらも超えて、様々な人に愛され、探求されています。

今回はその様な「クロスオーバー」されてきたバロック音楽を、関所としてみちのくへの玄関口となり、その後は松尾芭蕉などの文化人に愛された、文化の「クロスオーバー」地点としての白河の地で行える事を奏者共々大変嬉しく思っています。

またこれを機会に、白河文化交流館コミネスが東北と関東のバロック音楽のクロスオーバーの拠点となる事も願っています。

白河バロック音楽実行委員会

Ensemble *Sonar Cantando* アンサンブル ソナール・カンタンド

イタリア語の「歌いつつ奏する」という意味を持つ「ソナール・カンタンド」は、歌い手でありながら同時に様々な楽器を奏する春日保人をはじめ、メンバー全員が演奏する上で歌心(カンタービレ)を持ち、それぞれの作品にある「情感」を音楽の表現目的として2007年に結成されたアンサンブル。

これまでに「情熱のフランス・バロック」「魅惑のケルティック・バロック」「敬虔なるドイツ・バロック」「バッハ・偉大なる父とその息子たち」など意欲的・独創的なプログラムを世に送り「音楽の友」誌にて「評論家を選ぶコンサート・ベストテン2008」にも選出された。2010年、2012年とイタリアのブレーシャ国際古楽音楽祭に招聘されるなど、国内外で活躍。



春日保人
バリトン
バロックフルート
ホイッスル
バロックギター



丹沢広樹
バロックヴァイオリン
ヴィオロンチェロ・ダ・スパラ



島根朋史
バロックチェロ
ヴィオラ・ダ・ガンバ
トレブル・ガンバ



春日万里子
チェンバロ

Shirakawa
cominess

会場アクセス



白河文化交流館コミネス

〒961-0075 福島県白河市会津町1-17

電話 0248-23-5300 FAX 0248-23-5315

コミネスをご利用される方は、
JR東北本線北側のコミネス駐車場(無料)に駐車願います。

- ◎ 白河ICより車で20分
- ◎ 白河中央ICより車で5分
- ◎ 新白河駅より車で7分
- ◎ 白河駅より徒歩3分
- ◎ コミネス駐車場より徒歩6分